

11/27「MB Tオープンミーティング 2018in 東京」を三井住友銀行本店で実施

MB Tコンソーシアムと奈良医大は、(株)三井住友銀行の協力を得て、11月27日に東京駅前の一等地にそびえる(株)三井住友銀行本店（東京都千代田区丸の内1丁目）の大ホールで2部構成のオープンミーティングを実施しました。第1部は、共同研究や事業化マッチングを狙いに奈良医大の有力シーズ4本を紹介、第2部はMB Tコンソーシアム活動の中から事業に結び付いた2つの取り組みを紹介し、3年目を迎えたMB Tコンソーシアムの急速な進展の状況を首都圏の企業様にPRしました。

当日会場には、会員81人、非会員52人の、計133人の参加者が集まり、その中にはMB T活動に興味を持たれた、西アフリカに位置するベナン共和国のアデチュブ・マカリミ在日特命全権大使も参加され、少子超高齢社会の課題解決につながる研究や活動紹介に熱心に耳を傾けておられました。ミーティング終了後の交流会場では、MB Tコンソーシアム会員企業7社が、活動成果を紹介するパネルも展示して交流会の話題作りを盛り上げました。第1部、第2部の講演者とタイトル名は以下の通りです。

■第一部（奈良医大の有力技術シーズ紹介）

- ・細井裕司理事長 「MBT(Medicine-Based Town 医学を基礎とするまちづくり)」
- ・川口昌彦教授 「病院にも快適環境を！五感を活用したEffective Medical Creationの実践」
- ・森英一朗特任講師「ヒト脳オルガノイド技術の産業応用」
- ・坂田飛鳥助教 「血栓症超早期診断法」
- ・酒井宏水教授 「人工赤血球（ヘモグロビンベシクル）の医療応用」

■第2部（MB T活動紹介）

- ・梅田智広：奈良医大研究教授、大和リース(株)：庄司映理子、(株)ライフビジネスウエザー：小櫃美月
「MBT Link 健康見守りシステムと活用」
- ・西田隆司：富士通(株)「妊娠期・子育て支援サービス」

写真1；会場全景



◇第1部



←写真2；司会の細川洋治氏（奈良医大研究教授、第6部会リーダー）

→写真3, 4
；細井裕司理事長
講演



↑写真5～8；

有力技術シーズ紹介、左から川口教授、森特任講師、坂田助教、酒井教授

◇第2部



←写真9；司会の
遊佐敏彦氏
（奈良医大講師）

→写真10；細井裕司理事長が
ベナン共和国在日全権特命大使の
アデチュブ・マカリミ氏（右）を紹介



→写真1 1

; ㈱三井住友銀行 法人戦略部
清水浩徳部長が歓迎挨拶



↑写真1 2, 1 3

MB T活動紹介; 梅田智広研究教授と、討論に参加の庄司映理子氏 (大和リース(株))、小櫃美月氏 (㈱ライフビジネスウェザー)



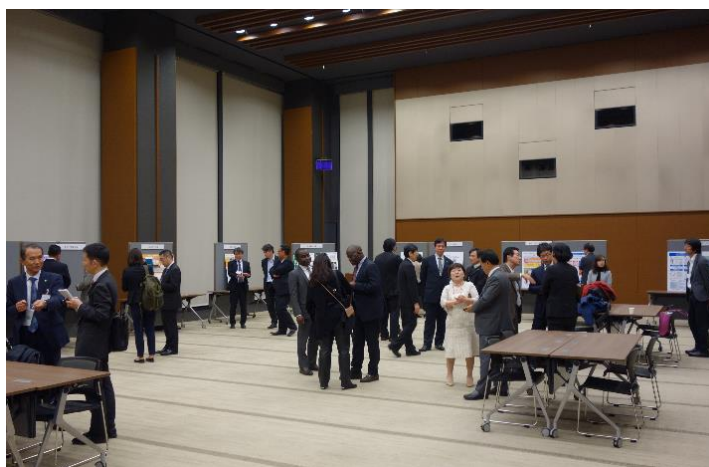
↑→写真1 4, 1 5

MB T活動紹介; 富士通(株)
西田隆司氏

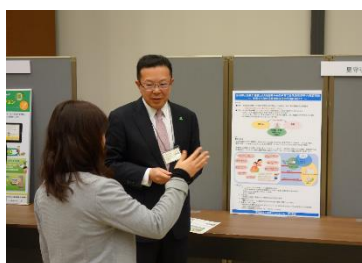
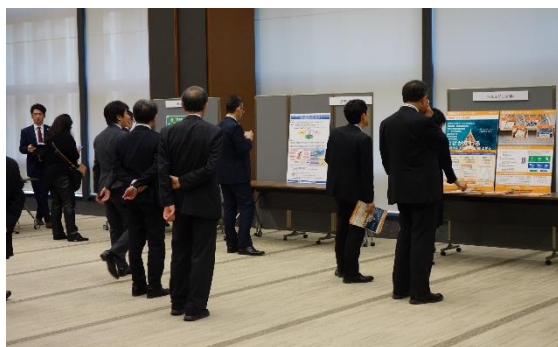


◇交流会（相談コーナーを含む）

→写真16；
交流会会場全景



↑写真17～20；
4人の有力技術シーズ紹介者への質問の様子、左から川口教授、森特任講師、
坂田助教、酒井教授



↑写真21～25；交流会の様子